

01 [ ] 05 [ ]  
 02 [ ] 06 [ ]  
 03 [ ] 07 [ ]  
 04 [ ]

SHIGOTONO\*MADO

05

開発建設部

仕事の

窓

Point

本委員会は、島嶼県沖縄において港湾が物流面で現在抱えている問題点を把握し、その解決方策を検討するための委員会です。10月19日(木)に開かれた第一回委員会に引き続き、第二回委員会を12月15日(金)に開催します。

## (第一回委員会)の開催について 沖縄における新たな物流構想基礎検討委員会

沖縄総合事務局では沖縄における港湾の姿や果たすべき役割をまとめた「沖縄における新世紀港湾ビジョン」を平成13年3月に策定しました。

それから5年以上が経過し、

沖縄の経済社会活動を支え、物流の中心的役割を果たしている港湾を取り巻く状況は大きく変化してきています。

例えば、那覇港では、平成18年1月より国内初となる民間ターミナルオペレータによる国際コンテナターミナルが本格運営を開始しました。中城湾港でも特別自由貿易地域等への企業立地も進んでいます。

に捉え、島嶼県沖縄の港湾が物流面で現在抱えている問題点を把握し、その解決に向けた方策を検討していくため「沖縄における新たな物流構想基礎検討委員会」を立ち上げました。

員会を行い検討を進めることとしており、来年度には新たな沖縄における港湾の長期構想を策定する予定です。

委員会は、公開で行われます。

少しでも興味を持たれたら是非会場に足をお運び下さい。

第一回委員会では、今港湾の物流の現状等を議論し、現在抱えている問題点を的確に捉えるため、港湾関係者に広くアンケート等を行うことを決めました。

12月15日(金)に行われる第二回委員会では、アンケート等の結果を踏まえつつ、東アジアにおける沖縄の港湾の可能性や現状の物流面での評価を議論す

### 第2回委員会 12月15日(金)開催

場所：沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ

問い合わせ先

沖縄総合事務局港湾計画課

TEL. 098(860)1214

### 委員会メンバー

	氏名	所属	職名
委員長	池田 龍彦	横浜国立大学大学院	教授
委員	牧志 泰三	(社) 沖縄港運協会	会長
委員	大嶺 秀宜	(社) 沖縄県倉庫協会	会長
委員	湧川 善充	(株) メイクマン	代表取締役社長
委員	安里 カツ子	(株) りゅうせき	取締役副社長
委員	幸喜 徳子	沖縄石油ガス(株)	代表取締役専務

### ※沖縄が抱えている問題点の一例

